

平成27年度 第1回湖東圏域公共交通活性化協議会総会

開催日 平成27年7月7日(火) 10時～12時

開催場所 文教ビル 5階 コンベンションホール

出席者 別紙参照

1 開会

2 議事

(1) 「第1号議案 専決処分につき承認を求めること」について(資料1)

- ・ 第1号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、異議無く承認された。

(2) 「第2号議案 平成26年度事業報告」について(資料2)

- ・ 第2号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、異議無く承認された。

(3) 「第3号議案 平成26年度決算報告」について(資料3)

- ・ 第3号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、異議無く承認された。

(4) 「第4号議案 平成27年度事業計画の変更」について(資料4、資料5)

- ・ 第4号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。その後、会長より承認を求めた結果、異議無く承認された。

● 樋口委員(滋賀県バス協会)

- ・ バスが利用されなくなったのは、定時性の確保ができていない、時刻表通りにバスが来ない。市内の場合、道が狭い、路駐駐車がある等が理由である。彦根城をマイカーで訪れる場合、名神の彦根ICから渋滞で掘が動かない状況である。国体がひかえており、道路環境改善の中、道路を作っていくのは難しく、ソフト面からの改善も必要である。例えば、近江八幡市では大型な駐車場を整備し、そこから八幡堀までシャトルバスを出している。彦根市の場合でも名神の近辺に駐車場整備を行い、シャトルバスを走らせることで交通の総量を減らし、走りやすい環境づくりが必要である。計画の中で、車の総量を減らす施策を一つ入れても良いのではないかと。

● 事務局

- ・ ご指摘のあった、外町交差点の市内に向けた渋滞について、現在、滋賀県が都市計画道路の原松原線、国道306号のバイパス道路を古沢交差点から名神のIC付近まで整備する予定であり、現在着手している。この道路については、観光シーズンや平成36年の国体のICからのメインインターとなるところで、現在、県にお願いして順次事

業を進めている。市内行きへの車の総量について、IC付近での駐車場整備およびシャトルバス運行は、参考にさせて頂きたい。現在、彦根市の都市交通マスタープランの基本方針を検討中で、その会議の中で参考にさせて頂きたい。

(5) 「第5号議案 湖東圏域公共交通活性化協議会規約の改正」について（資料6）

- ・ 第5号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、異議無く承認された。

(6) 「第6号議案 道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議が調っていることの証明書に係わる協議」について（資料7）

- ・ 第6号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、異議無く承認された。

(7) その他

● 湖国バス

- ・ バス活性化の商品で、6/20～7/31の期間で「スマイルバスデー」、バスに乗って笑顔が生まれる日ということで、彦根営業所の湖国バス管内の路線バス運転席後ろにA4サイズのクーポンが置いてある。このクーポンを利用すると、彦根駅前の飲食店と書店の割引を受けられる。数少ない路線バスの利用促進策として取り組んでいきたいので、路線バスを利用した際には活用してください。

● 事務局

- ・ 前回の総会で提案のあった、彦根市発行のプレミアム商品券について、今年度の新たな取り組みとして、プレミアム商品券で湖国バスの回数券が購入できるよう対応させて頂いた。

● 山岡委員（滋賀運輸支局）

- ・ 7月1日から近畿運輸局の組織変更があったため、案内のパンフレットを配らせて頂いた。以前は交通政策と観光部門は企画観光部、バリアフリーは交通環境部で行っていたが、今回、交通政策部と観光部に組織変更を行った。交通政策やバリアフリーに関わる内容を交通政策部、観光全般を観光部が担当し、より専門的に力を入れて進める予定である。

● 轟委員（滋賀県立大学）

- ・ 資料5のP.3について、網形成計画と再編実施計画のスケジュールがタイトと思われるが、各計画の策定過程と協議会の関係を教えて欲しい。

● 事務局

- ・ 前回の連携計画策定時には、12月に総会を開催し素案承認、その後各市町でパブリックコメントをとり、広く意見を収集し素案に反映させた。その後、3月に再度総会を

開催し、承認を頂いた。網形成計画についても同様のスケジュールで進めていきたいと考えている。

● 武永委員（滋賀大学）

- ・ 3号議案の中で乗り換え案内システムを作成したとあるが、公開時期の見通しはどうなっているのか。交通渋滞の問題に対して、道路を作って渋滞解消はお金もかかり大変だがそのまま進めてもらう。一方で、もう少しソフト的にどうするかを考えないといけない。例えば、京都市ではカーナビの設定をどうするかを検討しており、国土交通省との話にもなるが、駐車場案内等の案内を含めて、どのように市内へ誘導しないのか、車を集中させないか。カーナビ業者とも協議し、国や県と協力してカーナビの案内表示を工夫するようなことも検討してはどうか。道路ができないと対策できないのではなく、活性化協議会としてやれることをやっていってはどうか。

● 事務局

- ・ 乗り換え案内システムは、検索に慣れていない方にもご利用して頂きたいと思っている。ただ、たまたま最初に検索した時、正しく検索されないと、その後利用されないことを心配している。もう少し精度を上げた状態で公開したいと思っている。いつまでに公開とは言いづらいですが、できたら3ヶ月後ぐらいに公開したい。カーナビと連携した渋滞対策は、これまで検討したことがないため、網形成計画や再編実施計画の中で、そのような対策がとれるかどうかも含めて検討していきたい。

3 閉会

以上